

明日へつなげる岐阜市の自然

自然ふれあい活動支援ワークショップ

第40号 平成19年7月発行

○はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。

このような状況の中、岐阜市の素晴らしい自然を市民・地域共有の財産として次世代へと引き継ぐため **市民と行政の協働による「自然ふれあい活動」**に取り組みます！！



金華山地域 達目洞での稲作開始！！

- ・親子で田植え体験 餅米を作るぞ！（6月16日）
- ・稲作は大変だ！ みんなで草引き作業（7月7日）

○親子で田植え体験 餅米を作るぞ！

達目洞では「達目洞自然の会」の皆さんの指導の下、幼稚園の親子を迎えての田植え体験を行いました。

幼稚園の田んぼは約1畝（100m²）程度の狭い範囲ですが、幼稚園児が手植えするには、かなりの広さです。また、「泥に入る」「苗を植える」など、初めてのことばかりに手こずりながらも、ピーンと張ったロープに沿って、苗を植えていきました。

田植えをしていると、子ども達は自分たちの足元にたくさんの生き物がいることに気づき、自然と生き物採集が始まりました。達目洞の田んぼは、カエルやドジョウなどが今も多く生息しています。その生き物の宝庫は自然と子ども達を野生にかえす場所でもあるようです。



お米づくりの
始まった達目洞



田んぼのいろいろな
生き物を捕まえて
観察しました。



親子で田植えを
楽しみました！！



田植えが終わった後には、高架橋下に生えているニガイチゴの実をみんなで食べました。

田植えの後には、達目洞自然の会代表の石田さんの案内でニガイチゴの実がいっぱい生っている場所へ移動し、イチゴ摘みを楽しみました。子どもも大人も初めて食べる人が多く、ニガイチゴのちょっと苦くて甘酸っぱい味に、親子とも夢中になって摘んでいました。道端の野生の実を食べる機会など滅多にないこの頃では、非常に印象的な体験だったのではないのでしょうか！

○稲作は大変だ！ みんなで草引き作業



みんなで田植えをした場所には、ヒエがいっぱい生えていました。この草引きが本当に大変です。

みんなで田植えをしてから約20日後の7月7日七夕の日に、ヒエをはじめとした水田の草引き作業を行いました。みんなで植えた苗の周りには、たくさんのヒエをはじめとした雑草が生えていました。まだまだ小さい草ですが、この時期に草引きをしないと、すぐに稲と同じぐらいの背丈まで大きくなってしまい、稲の収量にも影響してきます。そこで、みんなで田んぼに入って、草引き作業を行いました。

この作業中にも、たくさんの生き物と出会うことができました。

さすがに殆ど農薬を使っていないだけのことはあります。米づくりの方法ひとつでも、そこに広がる生き物の世界ががらりと変わることが実感できるひとときでした。



田んぼの草引き作業では、園児のお父さん・お母さんが大活躍！

○おわりに

今年もいよいよ、達目洞の米づくりが始まりました。田んぼの一部を幼稚園にも手伝ってもらい、一緒に楽しみながらの米づくりです。さて、秋の収穫ではどのような結果が出るのでしょうか？

「達目洞自然の会」はヒメコウホネの保全のみならず、米づくりを始めとした自然体験の場を提供し、より多くの人々が達目洞で繋がり、活動の輪を更に広げるための取り組みが本格化しはじめました。これからの活動の広がりが楽しみです！！

岐阜市自然ふれあい活動に関する問い合わせ

岐阜市 人・自然共生部 自然環境室 担当：吉村

TEL：058-265-4141（内線：6452） FAX：058-267-1374

E-mail：shizen@city.gifu.gifu.jp

自然環境室 HP アドレス：http://www.city.gifu.lg.jp/c/12050000/12050000.html